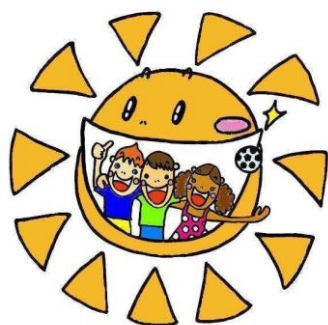


★KOBE KODOMO NIKONIKOKAI NEWS★

こうべ子どもにこにこ会 ニュース



第2号 2007年6月発行

〒658-0022

神戸市東灘区深江南町 4-12-20-201

TEL&FAX 078(453)7440

Kobekodomo_nikonikokai@yahoo.co.jp

目次

- P.1 ごあいさつ
- P.2 活動報告
 - 日本語教科教室
 - 母語教室
- P.3 **foco**
informações
- P.4 今年度の事業
その他の活動
- P.5 **voz**
会員募集
編集後記

ごあいさつ

前号（第1号）は、はじめて当会のことを知って下さった方にも分かりやすく、各活動の簡単な概要も載せ、いわばパンフレットの拡大版のようなものとなりました。

今号より、新しいコンテンツを追加し、より内容を充実させました。

ご一読頂けましたら幸いです。

コーディネーター 田中香織

活動報告

※HPブログにも詳細を掲載しています。

日本語・教科教室

●朗読会・保護者会●

4月21日(土)

今年は詩の朗読や絵の日本語での説明など子どものそれぞれのレベルに合わせて発表しました。

以前よりも自信をもって取り組み、多くのご家族にも喜んでいただきました。

発表を通じて子どもが自信をつけ、学校活動にもつなげてほしいと願っています。

保護者会にて前年度の会計報告やお話の後、子ども・保護者・担当ボランティアで懇談会を行い普段の様子、学習目的を共有しました。

次の発表時にはさらに成長が出来るように、それぞれの目標達成のために一体となり頑張っていきたいと思えます。

日時 毎週木・土16:00~18:00

場所 本庄地域福祉センター



朗読会のようす



保護者会のようす

母語支援教室

日時 毎週金15:30~17:00

場所 神戸市立本庄小学校

2006年より兵庫県の事業として「新渡日の外国人児童にかかわる母語教育支援事業」が実施され、今年度も6月より開催が決定いたしました。こうべ子どもにこにこ会では2002年の立ち上げ当初よりスペイン語母語教室/ポルトガル語母語教室(現在休止中)を開催し、2005年より神戸市立本庄小学校で開催しているスペイン語母語教室は、現在上記事業のセンター校として継続実施しています。

今年度よりクラスを担当する新講師ーフランシスコ・アルファロ先生は、出身国グアテマラでも小学校・中学校教師、また小学校の教頭の経験も持つ優れた先生です。また現在、大阪大学人間科学研究科の博士課程に在籍し教育について研究されています。

母語教室に集まる子どもたちは学年も母語レベルも様々で、その生徒すべてを1人でコントロールするのは経験豊かな教師でも容易ではありませんが、フランシスコ先生は生徒それぞれのレベルに合わせてタスクを与え、皆がそれぞれに集中して勉強できるよう配慮されていました。



私は昨年度4月から日本語・教科支援教室にボランティアとして活動に参加していました。昨年度1年間のボランティア活動を通じ、事務所と活動場所が離れていることによる難しさを感じていましたが、「少しでもこの会に貢献をしたい!」と思っていたところ、念願が叶い本年度4月からインターンとして参加させていただくことになりました。インターン活動の内容は、主に土曜のボランティアリーダーとして現場のコーディネート等を担当です。

まだ経験も浅く知識も少ない私とは対称に、長年活動をされている方、外国人児童生徒に関する研究をされている方々など頼りになるボランティアさんにサポートしていただきながら勉強させていただいています。

私が活動のコーディネートする上で大切だと意識していることが2つあります。それは、情報共有と連携です。にこにこ会は木曜と土曜日に活動しているので、1人の子どもに対して支援者が複数いる場合も多く、支援者同士の子どもの状況を互いに把握することが大切です。そうすることで無駄な重複を避け、子どもとの信頼関係を築きながら充実した支援が出来ると思います。また、事務所と活動場所が離れているため直接連絡を取ることが難しいという特徴ゆえに、事務所とボランティアさんとの連携が大切だと思います。

それぞれの「子どもたちの力になりたい」という思いを汲み取り、その思いを活動に表すことが出来るような環境を整備するために頑張りたいと思っています。活動に携わるさまざまな方々の共通する思いを活動に還元することで、子どもたちにとってにこにこ会がより身近で安心の出来る場所になればいいなと思います。

ボランティア側の視点、事務所側の視点、どちらも経験させて貰うことが経験できてとても幸運であると思います。その視点を活かして、これからもアイデアを出しながら頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。



←服部ゆりさん

(06年度クリスマス会にて)

その他の活動

- 地域日本語教育連携活動検討委員会
(ひょうご日本語ネット) 検討委員
兵庫県内における外国人に対する日本語教育(学習支援)状況についての検証、それらの問題を取り巻く国際交流協会や教育委員会等行政やNPO/NGO、日本語教育関係者によるネットワーク会議です。

- 本庄ふれあいのまちづくり協議会
運営委員
地域の拠点である地域福祉センターや児童館及びふれあい喫茶などの様々な行事を運営しています。
各自治会や婦人会、子ども会、PTA等地域を支えている関係者による協議会です。

informações

予定

◇◆にこにこの部屋◆◇

臨床心理士による心のケア
毎月第1・3土曜 午後

●こうべ多文化交流子どもキャンプ●

7月21日(土)～23日(月)
しあわせの村

募集

◎◎ 夏休み宿題教室ボランティア ◎◎

日時：8月20日(月)～24日(金)10～12時

場所：地域内小学校会議室(予定)

内容：子どもたちの宿題サポート

条件：3日以上参加できること

事前のボランティアオリエンテーション/登録会【要予約】に出席できること。

(日程等詳細はHP・blogにアップします)

問い合わせ先：nikoniko_tarefa@yahoo.co.jp

コラボ事業



☆☆ 月1回の英語教室 ☆☆

場所：フしあいスポット



JR甲南山手駅前SELVA

地下1階

対象：小学生

時間：11:00～12:00(月1回)

参加費：1人1000円

(クラブ作成費・お菓子込)

初回・継続 800円

(詳細はお問い合わせ下さい)

お問い合わせ先

e-mail: em_kids2006@yahoo.co.jp

<http://plaza.rakuten.co.jp/EMKids/>

(当会のHPからもリンクしています。)

大阪・神戸を中心に英語イベント・サークルを開催しているEM-KIDS (Enjoy with Miracle Kids)とコラボレーションで英語教室を開催しています

英語という言語ツールを使って、国籍等問わず全ての子どもたちが交流できるイベントです☆

クラスは児童英語教師の資格を持った講師が担当します。



※ 8月はお休みです。

4月21日(土)
Earth Day

5月12日(土)
Thank you Mom!

6月16日(土)
Flag Day

7月7日(土)
Star Festival

9月15日(土)
Grand Parents' Day

今年度の主な事業

◇◆母語教室 スペイン語教材作成事業◆◇

助成：日本財団

この度南米出身のネイティブ講師、また母語・継承語・バイリンガル教育の研究をされ、にこにこ会の母語教室にも積極的に関わって下さっている櫻井千穂さんの協力を得て、櫻井さんの研究グループが作成された「日本在住外国人児童のための継承語教育プログラム」に基づく教材を作成することになりました。

世の中一般には、南米スペイン語を母語とする外国人児童生徒のためのテキストというのはまだなく、当会の母語教室では今まで南米の教科書を使用していました。しかし、年齢差、母国語力の差のある子どもたちが一同に集まる母語教室では、よほど経験のある担当講師でも、学年別にある教科書を使用してクラスコントロールを行うのは至難の業でした。



今回作成しているテキストではその点も考慮に入れ、講師にとって使いやすく、子どもたちにとっても体系的に楽しく学習でき、またスペイン語学習はさることながら、母国の文化に触れ個々のアイデンティティを見直すきっかけとなるべく画期的なテキストを作成しています。

◇◆外国人児童生徒へのこころのサポート体制の整備事業◆◇

助成：木口ひょうご振興財団

異文化やことばの壁の中でストレスを感じている子どもたちが多く、学習面だけでなく、ボランティアが手探りで心のケアにも当たっていました。今回、臨床心理士・竹山典子さん（兵庫教育大学大学院）のご協力のもとより専門的な取り組みとして行うことや、子どもたち・保護者へのカウンセリングを通して、より充実した子どもたちへの支援体制を整備することを目的としています。

竹山さんはスクールカウンセラー（徳島県）として子どもたちへのケアを行ったり、大学・大学院で外国人児童生徒への心理的支援や彼らに接する支援者への心理的支援者養成プログラムについて研究されている方です。



◇◆こうべ多文化交流子どもキャンプ事業◆◇

助成：子どもゆめ基金

当会で学習している子どもたちや、同じ地域に住む（市内の）日本人の子どもたちが夏休みを利用した2泊3日のキャンプを通して様々な体験活動を行います。

「苦手なことをひとつ克服し、自信をもつ」「学習する習慣を身につける」

「勉強がわかる楽しさを知る」「遊びとの両立など規則正しい生活習慣を身につける」

などを目標とし、普段の日本語・教科支援教室／母語支援教室の限られた時間では難しい学習や遊びを体験します。



今回は、当会立ち上げ期から積極的に参加されている松下さんにお話を伺いました！

Q1.立ち上げ当初と現在の変化はありますか？

A. 『立ち上げ時は子どもに対し1対1でサポートをしておりましたが、時間や曜日もバラバラでボランティア同士での共有や、事務局側との連携が上手く機能していませんでしたが、現在はボランティア内での役割を明確にし、事務局サイドの組織化により連携がよくなってきます。また学習目的をより明確にすることで（保護者にも）安心感を持って頂けていると思います。』

Q2.活動していてよかったこと、活動を通じてご自身の変化等がありますか？

A. 『良かったことは当会を卒業した子どもたちが自立しても連絡をくれていること。地域の方々が理解し協力して下さることが少しずつあることです。家庭の事情や進学により翻弄されやすい子どもたちに少しでも安心できて心地よく過ごせる場が提供でき、役立つことが出来ればと思います。同時に責任も感じております。』

会員募集

会員になって私たちの活動を支えてください。

◆◆正会員【年会費 5000円】 個人

総会での議決権がある会員です。

◆◇サポーター会員【年会費 101000円】 個人10以上・法人10以上

経済的な支援を頂く賛助会員です。

郵便振替 0090-4-251298

こうべ子どもにこにこ会



編集後記

梅雨があけたら、また暑い季節がやってきますね。年々猛暑がひどくなってきている気がします。その頃には半年ほど産休に入らせていただく予定なのですが、夏を経験した方々から口を揃えて「大変よ～」と言われ、かなり覚悟を決めております…（笑）

皆さんはどんな夏を過ごされるのでしょうか？!

【田中】